

令和3年度 第1回ミライニ運営評価審議会の概要報告

日時：令和4年1月13日（木） 午後1時30分～午後3時

場所：ミライニ3階研修室

出席：阿部建治委員（会長）、矢野慶汰委員、西村まどか委員、金子尚委員、榊原有友子委員、佐藤佳奈江委員、船越伸委員、佐久間一徳委員、眞島裕委員（副会長）
鈴木教育長、池田教育次長、岩浪図書館長、阿部文庫長、小田副館長、門田ミライニ開設準備室次長、大井ミライニ開設準備室次長、眞嶋主査、鈴木主査兼係長、菅原調整主任、長南主事

欠席：本間俊美委員

○委嘱状交付

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委嘱状を各委員の机に置く形で交付。

○開会要件の確認

酒田駅前交流拠点施設ミライニ設置管理条例施行規則第3条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席があるため、開会要件を満たすことを確認。

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 委員自己紹介・職員紹介

4 会長及び副会長の互選

立候補者及び推薦者がおらず、事務局案のとおり会長に阿部会長、副会長に眞島委員が選出された。

5 報告・協議事項

(1) 酒田駅前交流拠点施設ミライニの概要について 資料1（説明 岩浪館長）

矢野委員：5ページのバス停について、庄交バスターミナルの機能が移転するという話だが、長距離バスの停留所などが現在の場所からなくなるということか。

事務局：庄交バスターミナルはバスの転回場、一時待機場所として引き続き活用するが、基本的にバスの発着はミライニのバス停留所を想定している。8月1日から新ダイヤでの運行が始まる。

阿部会長：ミライニにバス待合所があるのか。

事務局：バスの待合所は、建設中の立体駐車場の1階フロアに整備する。庄内交通のバス

待合所と、庄交トラベルのトラベルセンターになる。

阿部会長：酒田は坂が多い。日和山公園に来るには、多くの観光客が観光自転車を使っている。電動自転車を導入してはどうか、そういった計画はないか。

事務局：過去にも観光セクションに対して観光自転車の電動化ができないかというご依頼が多くあった。色々と検討させていただいた結果、電動自転車だと盗難の可能性が大きいことが危惧された。現在無料で共用している関係もある。有料化の検討も行ったが、無料で提供を続けていきたいという結論に至った。電動化に至らないのは、今もってその考えを踏襲しているためと考えている。

阿部会長：例えば、最初に利用者から基本料金として千円程度支払っていただき、電動自転車の返却時にその千円を返すという仕組みも考えられる。せっかく日和山に来てもお客さんが息を切らしており、かわいそうだ。市の方からも工夫して検討いただきたい。

事務局：担当課に伝える。

(2) 酒田駅前交流拠点施設ミライニの運営状況について 資料2（説明 大井室次長）

阿部会長：ボランティア教育は幼少期から教育して欲しいと思っている。高校生ボランティアは無償で行っているのか。一般社団法人 SKIES と書いており、法人であるならば、やはり有償で行っているのか。この年代からボランティア活動を行うのは素晴らしいことと思う。

事務局：高校生活動については、一般社団法人 SKIES に取りまとめをお願いしている。SKIES にボランティアスタッフとして登録し、活動した高校生に対しては、飲料水の提供などを行っている状況である。高校生を雇用しているという形ではなく、福利厚生として SKIES から登録された高校生に対してお返しをしている。

阿部会長：木玉プールについて、幼児は木玉を舐めてしまう。私の孫も保育園で木を舐めてしまったことがある。木玉を投げられ怪我をしたなど、もし何か事故が起こった場合、医療費や責任の負担はどうするのか。

事務局：ミライニでは、館内事故に対応する保険に加入しており、可能な限りは保険で救済できるかと思う。ただ、どういう状況で事故が発生したかによって、加害者側に対して求償するというのも当然出てくるかと思われる。ケースバイケースである。ご心配いただいたように、木玉を投げられ怪我をするという可能性は当然あるが、その点は館内の職員が目配りし、そうならないような形をとっていきたいと思っている。リスクの面を危惧して、木玉の設置を中止してしまうことよりも、色々な樹種に触れ、そこで学ぶことを評価していただきたいという思いである。

阿部会長：市の管理責任が問われないように準備をよろしくお願いしたい。

(3) 令和3年度図書館事業の実施状況について

資料3（説明 小田副館長）

質疑等なし。

(4) 中央図書館移転等のスケジュールについて

資料4 (説明 岩浪館長)

質疑等なし。

(5) その他

眞島委員：再開発エリアにマンションが入り、住まいになる。図書館のオープンには関係ないが、肉とか野菜はどこに買いに行くのか。酒田駅近辺には買い物をするところがない。バス停留所に出店予定のコンビニは決定したか。

事務局：決定していない。

阿部会長：多賀城の施設にもコンビニが入っており、便利だと伺っている。

阿部会長：大変すばらしい事業（イベント）を数多く開催してきているが、参加者はどのように情報を得て来るのか、何か調べたことはあるか。例えば、広報誌を見たとか、口コミだとか、何らかの情報で来ている。酒田の様々な会議に出ると、市に対して「子供の遊び場がない」などと苦情を言う方が多く、聞いていて心苦しい。子供と一緒に鶴岡市に行ったり、東根市に行ったりしていると聞いている。どのような情報でミライニのイベントに来ているのか。未就学児も含め、こんなにも多くの市民が来ている。子育て支援課から担当が移った政策があるという話も先ほど説明があった。子育て支援と子供に対する支援というのは、自治会長側でもとても重要視している。市の方にも何度もお願いしている。

事務局：ミライニの事業の周知は、基本的に広報でご案内する方法が第一に挙げられる。そのほか、図書館事業などでは小学校や保育園にご案内のチラシを配布している。ミライニの活動では、フェイスブックやインスタグラムなどの SNS で情報発信を行っている。今年度はコロナ禍により規模を縮小してイベントを実施していることもあり、十分な参加人数を確保できている。また、高校生との連携事業も多いため、各高校に周知することで高校生の参加を得られている。今後も新館オープンの際に学校連携として各小学校、中学校、高校、大学と情報交換をしながら関連事業を周知し、参加を募っていく。

阿部会長：開館時間外に対応する本の返却ポストはあるか。借りた本を閉館中に返却する仕組みについて伺いたい。

事務局：休館中の中央図書館への返却について、図書館入口の返却ポストが利用可能であり、文化センター西側の外壁に設置している返却ポストからは24時間返却できる。各分館に返却していただいても問題ない。公益大図書館でも返却可能な準備をしている。ミライニでは、光の湊共用ロビーに返却ポストを設置している。新図書館がオープンしてからはこちらに返却していただける。

阿部会長：庄内町や遊佐町の利用者が本を返却する場所はないか。市外から酒田市内の高校に通学している生徒も多い。

事務局：酒田市立図書館は、どちらの住民の方でも登録をしていただければ利用することができる。図書館に所蔵している本のみならず、所蔵していない本も他の市町村或いは県立図書館に依頼して本を借りることも可能。

阿部会長：高校生が朝早く来て、ポストに入れたいと思えば、返却できるポストがあるのか。

事務局：酒田市立図書館の本の返却口は設けている。しかし、他市町の図書館の本を返却できる仕組みにはなっていない。

眞島委員：運営評価の審議会ということで、通常であれば審議の際、目標と照らし合わせて審議を行う。今日はミライニについての説明を受けるということで承知しているが、次回からは目標値や実数値を示していただき、それを基に「お客さんが増えた」とか「喜んでもらえた」など評価していきたい。過去のことを話しても仕方がないため、新たに「こんなふうにミライニを運営していきたいので委員の皆様からご意見を伺いたい」という形で進めていければ、よりわかりやすい。

事務局：本日は初回の審議会であったが、3月に今年度2回目の審議会を開催させていただきたいと考えている。その席で新年度以降の指定管理者である株式会社図書館流通センターからの年間事業計画などをお示しし、今までの図書館とは違う視点からの提案や事業の進め方を説明していただこうと考えている。今お話に出たような、これからのこの施設の作り方、進め方について、ご意見を頂戴できる機会を設けたいと思う。

眞島委員：期待する。

6 その他

質疑等なし。

7 閉 会

～ 終了後、ミライニ館内視察 ～